

## 第 18 回日本統計学会春季集会の報告

川崎 能典（日本統計学会理事長）  
佐藤 忠彦（企画・行事副委員長）  
塚原 英敦（実行委員長）

第 18 回日本統計学会春季集会が 2024 年 3 月 9 日（土）に成城大学（東京都世田谷区）を会場に、一部の講演を除いては遠隔でのリアルタイム参加も可能な形で開催されました。今回の集会も、招待講演による 4 つの企画セッションと 1 つの基調講演、そしてポスターセッションが企画されましたが、新型コロナウイルス感染症の 5 類指定以降後初の春季集会ということで、ポスターセッションは対面方式のみの実施となりました。

午前は、3 号館 2 階 322 教室で開会式開催の後、2 つの会場に分かれ、2 セッションが並行して実施されました。322 教室では、海外からの 2 名の講演者を招いての国際セッション "Some new developments in multivariate analysis"（オーガナイザー：二宮嘉行氏，統計数理研究所），321 教室では「R ユーザのための機械学習チュートリアル（オーガナイザー：川崎能典，統計数理研究所，地道正行氏，関西学院大学）」がそれぞれ実施されました。

ポスターセッションは、3 号館 32B～32D を会場に、昼休みのコアタイムを第 1 部、第 2 部に分けて開催され、大学院生、若手研究者による計 24 件の発表がありました。32A 会場には協賛企業 1 社による展示も行われました。

午後は、同じく 3 号館 2 階の 2 つの会場で 2 セッションが並行して実施されました。321 教室では「複数の企業と大学の連携（産産学学連携）によるデータサイエンスを用いた実学取組み（オーガナイザー：竹村彰通氏，滋賀大学）」，321 教室では統計学会和文誌特集号に基づく「生存時間解析・イベントヒストリー分析（オーガナイザー：江村剛志氏，統計数理研究所）」がそれぞれ実施されました。

午後後半は、国際関係担当理事荒木由布子氏（東北大学），鎌谷研吾氏（統計数理研究所）のオーガナイズによるプレナリーセッションとなり、来日された Arnaud Doucet 氏（University of Oxford & Google DeepMind）による "From Denoising Diffusions to Schrodinger Bridges: Generative Modeling and Inference" と題する基調講演が、322 教室で行われました。

最後に、ポスターセッション表彰式と閉会式が行われました。優れたポスター発表に贈られる優秀発表賞は鬼塚貴広氏（広島大学大学院），別府健治氏（大阪大学大学院）の 2 名に、学生優秀発表賞は田川颯人氏（東京大学大学院），西森勇人氏（東京大学大学院），吉田悠夏氏（横浜国立大学大学院）の 3 名に授与され、照井伸彦会長より表彰されました。また、樋口知之氏（一般財団法人統計質保証推進協会統計検定センター長）より、優秀発表賞と学生優秀発表賞の受賞者に対して統計検定センター長賞が贈呈され

ることが告知されました（賞状・副賞は統計検定センターから後日送付）。なお、今年の春季集会の参加登録者は現地参加 166 名、オンライン参加登録 51 名の計 217 名でした。

今回の春季集会も多く発表者と参加者に恵まれ、盛会のうちに終了することができました。本集会を成功裏に終えることができたのは、開催校の成城大学の関係者の方々を始め、所掌外の業務にも協力頂いた学会理事・委員の皆様、急な依頼にもかかわらずポスターセッションの表彰審査をお引き受けいただいた会員の皆様のおかげです。末筆ながら感謝申し上げる次第です。

春季集会 URL :

<https://jss2024spring.ywstat.jp/>

ポスターセッション優秀発表賞

受賞のことば

鬼塚 貴広（広島大学大学院）

この度は、優秀発表賞という栄誉ある賞に選出していただき誠にありがとうございます。大会運営の皆様、先生方に感謝申し上げます。そして、日頃からご指導いただいている橋本真太郎先生にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

本発表では、ベイズ統計の観点から新たに外れ値に頑健なガウシアングラフィカルモデルを提案しました。特に、提案したガンマダイバージェンスに基づく事後分布が十分大きな外れ値に対して頑健であることを理論的に証明し、事後分布の計算のための効率的なアルゴリズムを構成しました。また、数値実験と実データ解析において既存手法との定量的な相違点に関して紹介させていただきました。

発表では、多くの先生方からご質問やコメントをいただきましたことを改めて御礼申し上げます。今回の受賞を励みに、今後もより一層研究に邁進して参りたいと思います。

受賞のことば

別府 健治（大阪大学大学院）

この度は優秀発表賞にご選出いただき大変光栄に存じます。このような機会を準備してくださった先生方、審査に携わってくださった先生方に心より感謝申し上げます。また日頃より丁寧にご指導いただいている森川耕輔先生、共に研究に関する議論をしてくださった相田航さんにもこの場を借りて御礼申し上げます。

本報告では、標本調査における結果変数に欠測値を含むデータに対し、セミパラメトリック漸近有効性を有する二重頑健推定量の提案と多重頑健性への拡張を報告させていただきました。また提案した経験尤度法に基づく推定方法を拡張することで、外部研究等から得られる要約統計量が利用可能な状況でも効率的な推定が可能であるこ

とを報告させていただきました。発表では多くのコメントをいただき、大変勉強になりました。今回の受賞を励みに、自身の研究にこれからもより一層邁進してまいります。

#### ポスターセッション学生優秀発表賞

##### 受賞のことば

田川 颯人（東京大学大学院）

この度は学生優秀発表賞をいただき、大変光栄に思います。このような機会を準備してくださった大会運営の皆様、および審査をして頂いた先生方に心より感謝申し上げます。また、日頃より丁寧に指導していただき、研究の方向性に対して適切にアドバイスをいただいた指導教員の坂口翔政先生にもこの場を借りて御礼申し上げます。

本発表では近年盛んに研究されている因果推論の中でも **Synthetic Control** という手法に対して、空間自己回帰モデルを導入することで **SUTVA** を仮定せずとも処置効果とコントロール群に対するスピルオーバー効果の識別が可能となることを示し、その推定方法まで提案しました。報告に際しては多くのご質問やご意見をいただき、大変嬉しく思います。今回の受賞を励みに、更に良い研究ができるようより一層精進していきます。

##### 受賞のことば

西森 勇人（東京大学大学院）

この度は学生優秀発表賞をいただき、大変光栄に思います。大会運営にご尽力くださった関係者の皆様に心より感謝申し上げます。また、日々ご指導いただいている松田孟留先生にこの場を借りて御礼申し上げます。ポスター発表では多くの方から質問やコメントをいただき、大変有意義な議論をすることができました。

本発表では、**Wasserstein** 計量に関する情報量不等式についていくつかの結果を提示しました。特に、先行研究にて報告された **Wasserstein-Cramer-Rao** の不等式について、その拡張である **Wasserstein-Bhattacharyya** の不等式を与えました。また、それらを **Fisher** 計量の結果と比較することで **Wasserstein** 統計の情報幾何と従来の情報幾何の類似点や相違点について考察しました。今回の受賞を励みに、これからもより一層研究に邁進して参りたいと思います。

##### 受賞のことば

吉田 悠夏（横浜国立大学大学院）

この度は、学生優秀発表賞という荣誉ある賞をいただき、大変光栄に存じます。審査していただいた先生方、大会を運営していただいた関係者の皆様に感謝申し上げます。

す。そして日頃より熱心にご指導していただいている黒木先生にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。また、共著者の Mohan 先生にも丁寧に研究指導をしていただきました。心より感謝申し上げます。

本発表では、共変量がとる値ごとに因果関係を測る指標の大きさが異なるという効果の異質性について、未観測交絡因子による効果の異質性を、未観測交絡因子を観測することなく、効果の異質性の存在を評価するための基準と定量的な大きさを評価するための効果回復法について報告させていただきました。ポスター発表では、多くのご質問、コメントをいただき大変勉強になりました。今回の受賞を励みに、さらに良い研究ができるようこれからも精進してまいります。